



湯梨浜

ゆりはま

# 議会だより

第17号

平成20年5月発行

げんき・いきいき・かがやきのまち



## 3月定例会

慎重審議 平成20年度予算可決 2面

一般質問 8人の議員が問う 6面

常任委員会 審議内容 12面

# 3月（第1回）定例議会

平成20年3月定例議会が、3月6日から3月14日までの9日間の会期で開催されました。

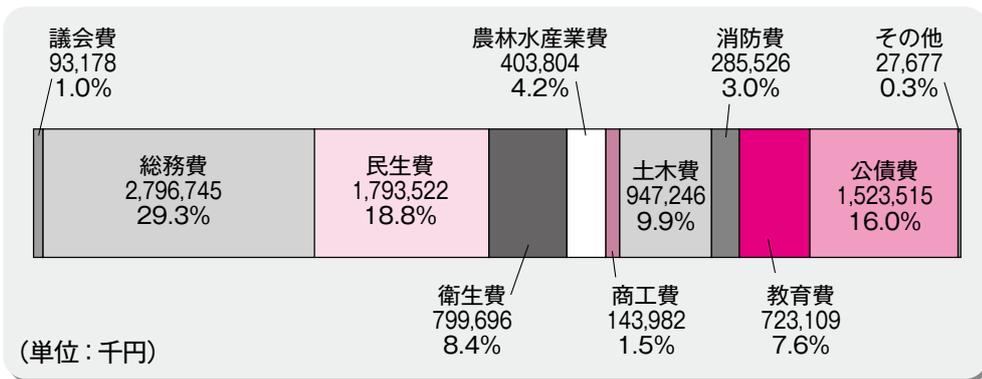
初日には町長が施政方針を述べました。町長は、①魅力あるまちづくりの推進、②環境配慮施策の推進、③農業・観光など産業の振興、④子育て、教育の更なる充実、⑤地域福祉の充実の5点を基本的な考えとすることを表明しました。

今議会に提案された条例の一部改正、補正予算などは、原案どおり可決しました。また、平成20年度一般会計、特別会計、企業会計など合わせて20会計（総額152億2895万円）については、予算特別委員会を設置し、集中審議を行い、全て原案どおり可決しました。

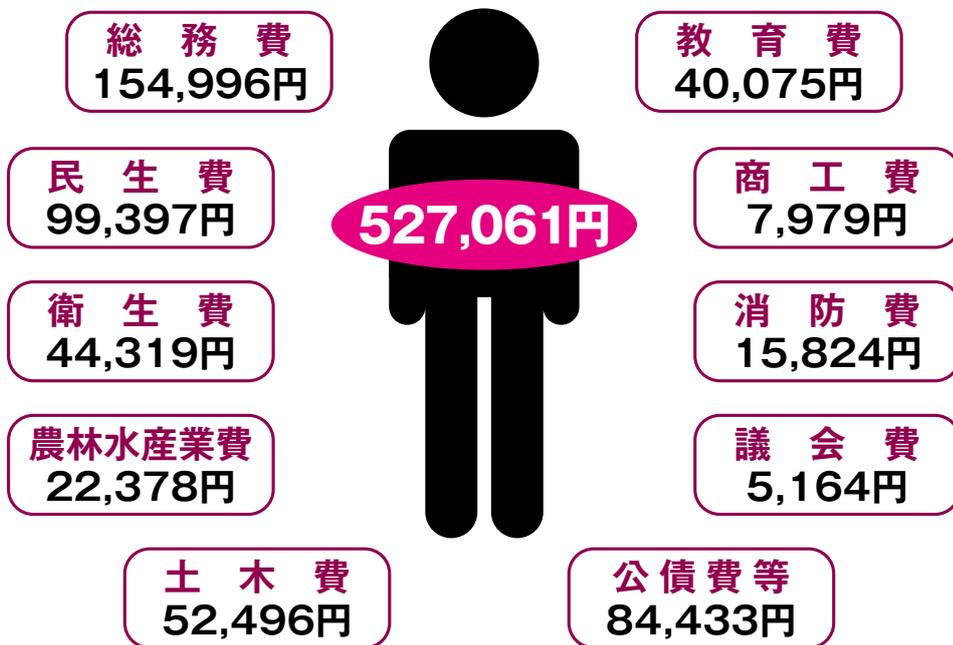
# FTTH基盤整備事業いよいよ大詰め

## 平成20年度一般会計予算 95億3800万円

### ◎ 一般会計予算 歳出 9,538,000 千円 ◎



### ◎ 町民1人あたりの金額 ◎



## 平成20年度 一般会計

当初予算総額は95億3800万円、対前年度10億1500万円の増。これはFTH基盤整備事業が本格化（予算額約16億円）したものであるが、税収や交付税に確たる明るい兆しが見えないこと、今後4、5年後に起債償還ピークを迎えること等を念頭に、全ての事業の点検、取捨選択をしつつ、重点施策や将来の町の発展に資することを主眼に編成されました。

## 平成20年度 特別会計

少子、高齢化社会の到来とともに、社会福祉の充実が求められる中で、安全・安心の暮らしのための歳出が大きくなりました。

特別会計と企業会計の総額は、56億9095万円です。

# きびしい目で チェック

## 平成20年度予算特別委員会



委員会の様子

平成20年度予算は、予算特別委員会を設置し、3月7日、一般会計をはじめ20会計予算について審議しました。審議内容（一部）は次のとおりです。

- ㊦ 庁舎を一本化することだが、本庁舎は羽合と決まっているのか。
- ㊦ 分庁方式を廃止し、本庁舎を羽合とする。住民意見交換会も予定している。平成21年を目途に取り組みたい。
- ㊦ 職員の給与格差は是正されたのか。
- ㊦ 個別の理由が把握できていない。著しく理不尽なもの是对応する。
- ㊦ 町職員の3分の1が課長補佐級である。改革を含めて見解は。
- ㊦ 合併前の役職を降格させるわけにはいかない。しばらく経過を見守る。
- ㊦ 広域連合の税の徴収率が10%程度である。委託をやめて各町で徴収したほうがいいのでは。
- ㊦ 広域連合にはもともと徴収が困難なものを委託している。現状でよこと考える。
- ㊦ 厳しい財政の中、FTH事業は16億円も予算計上されている。平成20年度は各家の軒下まで整備されるのか。
- ㊦ 幹線は19年度で終わり、20年度から21年度で音声告知器までの整備が完了する。
- ㊦ 磯坪団地のボーリング結果や宅建協会との協定は。
- ㊦ ボーリング結果によると、2階建ての建物くらいなら大丈夫とのこと。宅建協会と協議し販売に努める。
- ㊦ 地方交付税の削減や地方債の増加等の現状と今後の財政運営は。
- ㊦ 起債は5年後にピークを迎える。合併してから約4億円の普通交付税が減った。歳出を極力抑えながら財政運営に努める。
- ㊦ 道路特定財源廃止で当初予算への影響は。
- ㊦ 約5千万円の歳入減となる。
- ㊦ 中国労働金庫への預託金3千万円の使途、目的は。
- ㊦ 働く人に有利に活用されている。今後精査する。
- ㊦ 男女共同参画関係の事業が様々あるが、予算をひとつに整備してはどうか。
- ㊦ 次年度より考えていく。
- ㊦ 住基カードの普及率はどうか。
- ㊦ 数十人といったところで、100人に満たない。
- ㊦ 保育所広域入所委託料が多い理由は。
- ㊦ 町内保育所を勤めているが、勤務や実家の関係でどうしても広域入所を選ばれる方がある。



今後の道路整備はいかに？



チャレンジブラン（イチゴ高設栽培）

- ㉑ チャレンジプランにメロンやイチゴの産物がながい、申請がなかったのか。
- ㉒ イチゴは高設栽培事業で平成16～18年の3カ年で整備された。メロン、ぶどうについては申請がない。
- ㉓ 観光協会補助金のあり方を根本から検討すべきではないか。今のままでは機能しないのでは。
- ㉔ そのように感じる部分もある。いろいろな

- ㉕ 分野・団体との連携が必要と考えている。
- ㉖ 松崎駅の管理委託先はどこか。委託料の積算根拠は。
- ㉗ シルバー人材センターに委託している。切符販売手数料の5%がJRから町の収入として入るが、委託料のほうはるかに高い。
- ㉘ シルバー人材センターへの補助金は国と町から同額で出ている。実績報告書は出ているか。

- ㉙ 町への実績報告書はある。国にも同じ報告書が出ていると思う。
- ㉚ 社協の補助金が年々減額されている。どのように精査したのか。
- ㉛ 社協の役割は大きい。共同募金・社協会費の推移を含めて協議した。
- ㉜ 未整備森林モデル事業補助金とはどんなものか。
- ㉝ 放置されている未整備の森林を整備していくもの。中部では2つの法人が事業主体となっているが、平成19年度は成果は上がっていない。
- ㉞ 同和関連予算、支出するのはどうかというものがあつたが、当初予算はあまり変わっていないようだ。
- ㉟ 支部役員会で協議中である。指摘があつたのが当初予算編成後であつたため予算に反映できていない。



築20数年経過した  
あやめ池スポーツセンター

- ㊱ 羽衣会館の維持管理費は整理されたのか。
- ㊲ 地元と話し合っているが、調整はまだできていない。
- ㊳ あやめ池スポーツセンター負担金を多額に払っているが、町民が利用する場合も利用料金を払わなければならないか。
- ㊴ 町民利用でも利用料は掛かるが、それは町には入ってこない。建設から相当期間も経過した、負担金軽減について県と協議したい。

## 平成20年度予算特別委員会報告

平成20年度の20会計当初予算について、厳しい財政運営の中、各会計ごとに町長の施政方針に基づき適確な行政サービスを提供が、町民の満足度を指すものとして十分に反映されているのかという視点にたつて、委員一同慎重審議の結果、付託された20会計について原案のとおり可決することが適当であると決した。

なお、審査の経過の中で、本年4月よりスタートする後期高齢者医療制度に絡み、真に高齢者の立場に立つた医療制度なのか疑問視する厳しい意見があつた。一方で制度そのものには反対であるが、施行を目前にして反対しても、75歳以上の高齢者が医療を受ける制度がなくなってしまうことへの懸念から、やむなくの判断を下された場面もあつた。このことが、国民健康保険事業及び後期高齢者医療特別会計について、起立採決（賛成14反対2）に至つたことを申し添える。さらに、今後4、5年後に起債償還のピークを迎えることに鑑み、厳しい財政状況及び今後の方針を正確かつ迅速に町民に示すとともに、予算執行にあたっては、あらゆる角度から絶えず事業を精査され、公平、公正かつ町民の安心、安全な暮らしのために取り組んでいただくことを強く求めるものである。



平成20年度予算のほか、3月定例議会に提出された議案については次のとおりです。

## 補正予算

### ☆一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ3億3885万3千円を減額し、予算総額を82億5190万1千円とするもの。

主な内容は、広域連合ごみ処理負担金、基金積立金の増額。チャレンジプラン支援事業補助金、情報環境基盤整備事業の減額など。

### ☆国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ808万4千円を減額し、予算総額を18億9543万3千円とするもの。

主な内容は、出産育児一時金支給等の保険給付費及び高額な医療費に対する財政安定化のための共同事業拠出金の減額な

ど。

### ☆下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ3036万円を減額し、予算総額を13億1013万1千円とするもの。

主な内容は、長江枝線管渠築造工事の布設延長の変更及び公債償還利率変更による長期償還利子の減額など。



湯梨浜町 健康風景 (ハワイ元気村 早朝太極拳)

その他、老人保健特別会計補正予算など、合計15会計補正予算が提案され、原案どおり可決された。

## 条例関係

### ☆国民健康保険税条例の一部改正

後期高齢者医療制度の創設に伴い、国民健康保険税の課税額に、「後期

高齢者支援金等課税額」を新設整備するもの。

### ☆介護保険条例の一部改正

税制改正の影響で収入が変わらなくても、介護保険料が急激に上昇するケースが生じ、このため講じられた激変緩和措置を、平成20年度も継続するもの。

### ☆特別医療費助成条例の一部改正

65歳から74歳までの一定の障がいのある方について、後期高齢者医療制度の加入が助成対象要件となっていたものを、加入している医療保険に関わらず、特別医療費の助成対象とするもの。

### ☆農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正

現在の委員は本年7月19日に任期満了となり、一般選挙が執行される予定。選挙による定数につ

いては欠員状態にあることや行政改革などの議論を踏まえ、現行17名を13名とするもの。

### ☆「げんき・いきいき」かがやきのまち「ふるさと湯梨浜応援基金条例」の制定

ふるさと納税の受け皿として基金を設置し、寄付者の社会的投資を具体化させ、多様な人々の参加による個性あふれるふるさとづくりに資するもの。

その他、後期高齢者医療に関する条例の一部改正など、合計16の条例制定及び一部改正が提案され、原案どおり可決された。

## その他

### ☆工事請負契約の締結

情報環境基盤整備事業 伝送路(第1期)工事に続き、テレビのデジタル

化対応、音声告知器の設置を行い、町内無料電話・FAX送信システム、インターネットサービスの整備を行うため、伝送路(第2期)工事を発注する契約について可決。



新しく設置予定の 音声告知期

その他、石脇地区圍場整備事業に係る字界変更について、鳥取中部ふるさと広域連合規約の変更について及び人権擁護委員の候補者(泊・河本満子さん)の推薦につき意見を求めることについて、いずれも可決された。

# 8人の 議員が問う

# 一般質問 ここが聞きたい!!

平成20年3月定例会は、3月6日に開会され、第3日目の3月8日(土)に一般質問が行われた。

質問議員8人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。



一般質問（議場風景）

学校教育法等の改正が行われ、すべての学校において、障がいのある幼児・児童・生徒の支援をさらに充実していくこととなった。また、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、高機能自閉症により、学習や生活の面で特別な支援が必要な児童生徒が約6%の割合で存在する可能性があり、適切な対応が求められている。

本町においても教育の重点施策として特別支援教育の充実を示され、また、地域福祉計画等でも明記されているが、その



浜中武仁議員

**Q 特別支援教育の取り組みは**  
**A 長期的な視点に立って**  
**教育支援計画を作成する**

取り組み状況を伺う。

**答弁（町長）**

幼児期から小・中学校と連携を図りながら、町における一貫した取り組みが必要であり、各学校に必要に応じ特別支援の学級、羽合小学校には通

**答弁（教育委員長）**

教育支援計画については、個人情報保護が確保されることが不可欠であり、長期的な視点に立ち、乳幼児期から学校卒業後までを通じて、一貫した計画を平成20年度の早い時期に作成していきたい。

級の指導教室を配置しながら、児童・生徒一人ひとりに対する指導をしている。



小学校生活に胸ふくらます1年生（泊小学校にて）

## Q 県立美術館を誘致してほしい

A 誘致は困難、  
旧桜小学校は他の利用に



平岡将光議員

答弁（町長）  
県立美術館の誘致ができれば、町のシンボルとして大きな役割を果たすだろう。しかし、県は現段階では実現は不透明と発言している。

鳥取県には県立美術館がない。美術館は、美術・芸術の振興を図り、伝統文化を支え、新たな文化を創造する。また、若者たちに本物の美術作品を鑑賞させることにより、創作意欲につなげ、教育の普及活動に役立つ。

加えて、県・町のシンボルとなり、人を集め経済を動かす役割、人々に安らぎを与え、応接の館の役割を担うものである。高台の風光明媚な旧桜小学校跡地へ、美術館の誘致運動を展開してはどうか。

小学校跡地利用については、現在、県からの提案もあり、跡地利用検討委員会で具体的に検討も行われている。



県から跡地利用の提案があった旧桜小学校

## Q 竹林の駆除の方策は

A 実態を調査中

竹林の猛威によって、森林の荒廃は目を覆うばかりで、わが町は県下で竹林増加率が2番目に高い町である。

全ての住民が、多くの恩恵を受けている森林の公益機能を持続的に発展させるために、森林環境保全税を活用して、森林を守り育てる意識の醸成が必要と思う。

果樹園地の保全のために適切な竹林駆除の方策の検討、また、竹の肥料化等の有効活用への検討はなされているか。その現状と対策について伺う。

答弁（町長）

県下全体で竹が増える状況は続いている。本町でも昭和63年は63haだったものが、平成18年には107haと、70%の増となっている。

現在、鳥取県農業試験場を中心に平成17年度から19年度の3カ年計画で森林被害の実態調査と防止試験に取り組んでいる。森林に侵入する竹の早めの処理事業、薬剤を使用した防止策と使わない防止策、筍を食することの普及、竹材の大量消費の事例調査など行っている。町内では、商工会有志が「竹パウダー生産」を研究中である。

## Q食の安全から自給率の向上を

### A地元食材を取り入れた給食を提供



会見祐子議員

が町長の見解を伺う。

#### 答弁（町長）

食の情報提供について、先の中国産冷凍キョウザを例にすると、町民向けの情報提供をケーブルテレビ、町のホームページ、防災無線などで行った。

一方で、教育委員会と子育て支援課にも情報を伝達し確認した。引き続き迅速で広範囲な情報提供に努めたい。

本町の学校給食における地元食品使用率は18.8%、県内産食品使用率と合わせると65.8%である。今後も町内の加工グループ、農協との連携を取りながら安心、安全な食材、地元の食材を取り入れた給食の提供に取り組んでいきたい。

中国産の加工品による中毒問題が報道された時、学校給食をはじめ、町民や消費関係者への対応・情報が遅いのではないかと、食の自給率が39%とあるが、地産地消を目指す本町の給食関係の自給率はどうなっているか。自給率の向上を目指す施策はなされているか伺う。

顔の見える食材、新鮮でおいしい野菜、加工品、安心して暮らせるために自給率を上げ、賢い消費者の育成や遊休農地・荒地・転作地を利用し、老人の生きがい作りに結ぶ政策が急がれると思う。



食材を提供する給食畑の一部（北栄町）



元気になろう！ まだまだ頑張るぞ

## Q後期高齢者医療制度

### 見直しを国に要請を

### A制度上不備な点があれば要請する

12の議会が国に意見書を提出している。町民の生命と財産を守る立場の町長として、この制度の見直しまたは中止を国に要請するべきではないか。

#### 答弁（町長）

後期高齢者医療制度が4月からスタートするが、理解をしていただくため、40回の説明会を行った。健康診査は広域連合の委託を受け、集団検診でも個別医療機関でも500円が町が行う。

保険料の滞納が起らないように納付勧奨を徹底し、徴収努力をする。国が示した医療制度改革は高齢社会の進展、ふくらむ医療費を考えるとやむを得ないと思うが、内容において負担増加、病床数の大幅削減など厳しいものがある。制度上不備な点、改めるべき点は、国に対し改善・見直しを要請する。



竹中壽健議員

健診は、広域連合では有料化の方針のようだが、12月議会で従前どおり実施すると答弁されたが、

変わりはしないか。本町においても住民税・国保税・介護保険料の滞納が増加している。後期高齢者医療制度がスタートすれば、払えない方々の増加が予想される。滞納者に機械的に資格証を発行されるのか。310万人の署名、5

## Q 地球温暖化防止のための対策は

### A 温室効果ガス排出削減 実行計画を策定中



浦木 靖議員

答弁（町長）

独自条例の制定などは現在考えてはいませんが、食用油回収システムなど、新しい取り組みを行なっ

ていく。また、「温室効果ガス排出削減実行計画」を現在策定中である。町内には、町民誰でも利用できる鉢伏山生活環境保全林と泊城山多目的保安林が整備されている。散策などに活用していただきたい。

東郷湖の浄化対策については、多方面の方から

意見をいただいている。県や関係機関とも連携を図り、浄化対策に取り組んでいく。

## Q わが町の基幹産業の実態は

### A 後継者不足が課題

合併して4年目になる

が、わが町は何を基幹産業として育成しようとしているか、まったく見えない。農業にしても米作・果実・施設園芸の出荷額がほとんど減少している。

答弁（町長）

町内の産業には農林水産業をはじめ、商工業・サービス産業があり、それぞれ特色を生かした経営がなされているが、大変な課題も抱えていて、後継者不足はすべての産業で課題となっている。

工業製造品額・旅館等観光施設の入込客の減少が顕著であるが、町長はこの状態をどう認識しているのか。

また、石見銀山の世界遺産登録によって近隣の市町村の各方面に良い影響を与えている。このことを考えれば、三徳山の世界遺産登録はわが町には大変重要であるが、取り組みはどのようなか。

今後、高齢化の進行、就業構造の変化に対応した施策が必要であり、そのことが「特色あるまちづくり」に繋がるものだと思う。また、これまで以上に広域化も進んでくる。産業・観光・定住等、広域化に対応した対策を進める必要がある。これからも魅力あるまちづくりに努力をしていく。

地球温暖化の影響と思われる世界各地での干ばつや寒波、洪水などが頻発し、人類は大きな危機に直面しているが、わが町としても地球温暖化防止のための取り組みとして「エコ条例の制定」「エコ宣言都市」「学校等において、県版の環境資格取得」等の考えはないか。

森林浴をするためにも、山林の一部を整備する考えはないか。

東郷湖の水質は、以前より悪化の傾向にあるが、町長はどうか認識しているのか。



恵まれた自然、資源を大切に（ボランティア活動）



回収された大量の漂着ポリ容器

## ◎海岸の漂着ゴミ処理は A国へ応分の負担を求めていく



吉田礼治議員

日本海沿岸市町村では、中国、韓国等の漂着ゴミが大きな社会問題となっ

ている。  
本町には3つの海水浴場もあり、年1回のクリーン作戦だけでは処理できない状況である。美しい海岸を守るための方策について伺う。  
無償ボランティアには限度がある。

沿岸自治体が連携して国、県に対して財政支援を要請するとともに中国韓国等関係国に対して不法投棄をやめさせるよう働きかけるべきと考えますが、町長の所見を伺う。

答弁(町長)

地域で実施されるクリーン作戦、海水浴場を開設しておられる方々、あるいは海でスポーツを楽しむ方々、企業、団体、老人クラブなど多くの方々の尽力により美しい海岸は維持されているものと思っている。今後とも多くの方が参加し、自分たちの海・美しい砂浜を守る活動に取り組めるよう支援する。

また、外交ルートを通じた対岸諸国への調査や厳正な措置を申し入れ、「元を断つ」努力をすると同時に、漂着物処分については、国へ応分の負担を求めていく。

## ◎文教施設の耐震化は

### A統廃合も含めて検討する



入江 誠議員

甚大な被害が出た阪神・淡路大震災や、姉齒一級建築設計士の耐震強度偽装事件から、防災意識と耐震診断の必要性が高まっている。

特に文部科学省が耐震診断の基準値をIs値0.3未満の施設は震度6以上の地震で倒壊や崩壊の危険性が極めて高いとしていることから、財政的には苦しいが、安全を確保するために早急に本町における公共施設、特に文教施設において耐震診断を実施すべきだと思いがどうか伺う。

答弁(町長)

学校施設については防災機能の観点から、相応の整備を図ることが重要である。  
小学校は新基準の建築物であるが、中学校は基準を満たしていない。生徒数の減少が予測され、

統廃合も含めて検討する。保育所・幼稚園も統廃合を検討している。

答弁(教育委員長)

北凧中学校は平成15年度に、東郷中学校は平成16年度に教室棟について2次診断を実施した。基準値を上回る箇所と達しない箇所があり、補強が必要だが、多額の経費が必要なため、教育委員会としては統廃すべきとの結論に達した。



東郷中学校建物の一部

## Q 同和関連予算の見直しは

### A 補助金交付要綱を作って対応



増井久美議員

12月議会において、同和関係の補助金のあり方に問題があると指摘した。議会の最終日に教育長より「不適切なところがあったので見直しをする」と答弁があった。その後、検討経過と結果を伺う。国は、同和事業は終結したという立場から補助金は出していない。予算は県のもの、町独自のものがあるが、町全体の予算の中でどの程度を占めているのか。

北栄町は大幅な予算のカットをした。本町の同和予算も一般施策に移行させてはどうか。

答弁（町長）

その後の経過については、適切でないと判断した団体は補助対象から除外するとともに、今後とも検証しながら補助要綱等、一定の補助基準づくりに向け、調整・検討していくかなばならないと考える。

答弁（教育委員長）

同和関連予算の町予算全体に対する比率は、平成20年度は0.57%である。

同和予算の一般施策への移行については、同和対策特別措置法は平成14年3月末をもって失効となり、それ以降、現在まで地区事業についても特化したものではなく一般施策として、対応しているものと認識している。



搬入される給食食材  
地元（泊）産ホウレン草

## Q 学校、保育所給食に地産地消を

### A 食材の確保、組織づくりに 取り組んでいきたい

中国製ギョーザ中毒が発覚するなど、中国から輸出される食品の安全性が世界的に問題化される中、輸入食品の安全性に対する国民の関心は高くなっている。今回の問題で国産がほしいとの声が強くなっている。

学校給食においても地産地消を使用してほしいという声もあり、地産地消を進める上で、契約栽培に取り組めないか。

本町の農業の現状と、町長の地産地消に取り組む姿勢について伺う。

答弁（町長）

本町の農業の現状は、耕作放棄地が全農地の10%、就業年齢も高い状況であり、後継者も不足している。認定農業者数も44名であり、他の農業どころに比べると若干少ない印象がある。

地域の産業振興のためにも、学校給食に必要な食材をJA、農家における組織が中心となり、食材の確保、組織づくりに含めて取り組んでいきたいと考える。最終的に契約栽培にもっていくのが理想であり、具体化に向けた検討にもう少し時間をいただきたい。

# 委員会活動

## 議会広報調査 特別委員会

- ☆3月6日  
・第17号の編集割当て
- ☆3月10日  
・第17号の編集
- ☆3月28日  
・第17号の編集
- ☆4月4日  
・第17号の校正
- ☆4月17日  
・第17号の最終校正

## 総務常任委員会

- ☆2月21日  
・第1回定例会提出（予定）議題について
- ☆3月10日  
・第1回定例会提出議題について

## 民生常任委員会

- ☆2月29日  
・ゴミ袋無料配布の変更について
- ・妊婦健康診査公費負担
- ・陳情審査について（質疑については、常任委員会の審議内容を参照）

回数拡大について

介護保険生活機能評価の実施について

使用済み食用油の回収について

☆3月11日

・第1回定例会提出議題について

・陳情審査について（質疑については、常任委員会の審議内容を参照）

## 教育産業 常任委員会

☆3月10日

・第1回定例会提出議題について

・上下水道料金改定(案)について

・石脇地区基盤整備促進事業の年度延長について

・松崎駅前観光案内所の再開について

・陳情審査について（質疑については、常任委員会の審議内容を参照）

## 議会運営委員会

☆2月14日

・第1回定例会日程について

☆2月26日

・第1回定例会について

## 教育施設利用 調査特別委員会

☆3月12日

・跡地利用検討委員会の経過報告について

・今後の取組みについて

## 議会基本問題 調査特別委員会

※マークは議会改革検討委員会との合同委員会

※3月12日

・地方議会をとりまく最近の動き（議員定数、報酬等）について

※3月26日

・議員定数について

☆4月10日  
・議員定数について

## 常任委員会 審議内容

### 総務常任委員会

2月21日  
3月10日

Q 鳥取中部ふるさと広域連合の規約改正で、消消費負担金はどのようなのか。

A 現行の負担割合、人口割60%、基準財政需要額割40%をそれぞれ

50%に改正するもの。平成20年度は現行のままとし、平成21年度及び22年度には段階的に改正負担率に近づけ、平成23年度から改正負担率を適用するものである。これに伴い、本町は約400万円の負担増となる。



広報取材に頑張る委員



生命・財産を守る要：羽合消防署

**Q** 情報環境基盤整備事業の進捗状況と今回の請負契約の工事内容は、

**A** 第1期工事（光ケーブル幹線、支線設置工事）は順調に進み、ほぼ完成した。今回の請負契約は、これに引き続き第2期工事（宅内配線工事）へと進み、核となるTCC湯梨浜支局に音声告知、域内電話・FAX送信、インターネットサービス提供等の各システムを整備するもの。新システムへの移行が完了後、旧ケーブルテレビ設備を撤去、処分を行う。

**Q** 職員の自己啓発等休業に関する条例について、内容及び身分、給与はどのようになるのか。

**A** 自己啓発及び国際協力の機会を提供することを目的として、職員が自発的に大学等における修学や国際貢献活動のために職員としての身分を保有しつつ、職務に従事しないもの。その間は無給で、3

年を越えない期間とし、期間が満了したとき等は職務に復帰する。また、このたび職員が職務を完全に離れることなく、仕事と育児の両立が可能になるよう、小学校就学の始期に達するまでの期間、育児のための短時間勤務制度を導入する条例制定も行う。

**Q** 税の不納欠損に関して、特に固定資産税について何とかならないのか。

**A** 税の不納欠損に関して、時効成立しないように心がけているが、中にはまったく行方が分からない方もおられる。資産がある限り毎年固定資産税の賦課と不納欠損の処理をしなければならぬ現実がある。

**民生常任委員会**

2月29日  
3月11日

**Q** 国保事業について、本町の疾病のデータ分析等はしているのか。

**A** 昨年に1カ月分の全レセプトを調査、分析し、データを作成した。その結果、糖尿病が多いことが判明。平成20年度の重要課題と位置づけ、健診計画にも反映させなければと考えている。現在何カ所か

をモデル地区として取り組んでいくことを計画している。

**Q** 妊婦健康診査費助成事業の廃止は、受診回数への減につながりはしないか。

**A** 平成20年度から妊婦健康診査公費負担回数を現行の2回から5回に拡大することとしている。これに伴い従前の妊婦健康診査費助成事業を廃止するものである。今まで6回〜10回受診していた人が、

助成がなくなれば、公費負担回数（5回）以上の受診を控えるのではという心配はある。

**Q** 退職者医療費が増えているが、今後の見込みはどうか。

**A** 制度改正により退職被保険者の65歳以上が一般被保険者へ移行するため、一般医療費も増えてくると思われるが、現状の医療費の実績、推移等から判断して退職被保険者一人当たりの医療費はやはり増加すると見込まれる。今後もちんと分析し、対策を講じていく必要がある。

**Q** 介護保険の普通徴収でも滞納があるが、後期高齢者医療も同じことになるのでは。どう対処するのか。

**A** 後期高齢者医療も含めて、町の徴収金である限り他の税と同じ考え方で対応せざるを得ないが、減額、減免規定等もあり、個人ごと

の事情も十分考慮しながら取り組んでいきたい。

**Q** 国保特定健康診査等の実施計画の内容は。

**A** 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年度から糖尿病などの生活習慣病に着目した特定健診及び特定保健指導を行うもの。この実施計画は5年を1期とし、5年ごとに計画見直しをする。対象となる生活習慣病は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者・予備群とし、平成24年度には10%減少、平成27年度までに25%減少することを目標として取り組むもの。



元気な野菜で安心、安全！健康づくり  
(ハワイ元気村 元気野菜づくり教室)

Q 松崎駅前観光案内所の再開、効果が期待できるのか。

A 松崎駅前の賑やかさを創出し、地域住民や観光客の流れをつくる仕組みづくりのための活用を図りたいとの地域要望を受けて再開するもの。レトロな東郷温泉街の写真展示や観光情報機能を持たせながら、憩いのスペースとしての活用等を図っていききたい。効果については、今後の取り組みに期待したい。

Q 水明荘のバリアフリー化は怎么样了。基準を満たしているのか。

A 点字ブロックも整備、身障者用の部屋1部屋と風呂も完備している。建設時の平成11年度の基準は全て満たしている。部屋のドアノブのところに部屋番号点字表示がないので、こ

れらは付けたいと考えている。今後とも身近に気付いた点から改善をしていきたい。

Q 上下水道料金改定(案)について、不満が出るのでは。

A 現在、上下水道事業は剰余金が出ているので引き下げたいが、下水道事業については、一般会計からの繰入金が大い状態。公債費負担適正化計画にも、平成20年度は180円とされているところ。負担増をお願いしなければならぬ状況にきている。不満は出てくるものと考え、現状を十分説明をし、理解を得るよう努めていきたい。

Q ドラゴンカヌーの利用状況は。学校教育、水明荘の企画等での利用はどうか。

A 現在の利用状況は、ドラゴンカヌー大会前の練習くらいで、その他の利用がない状況。

水の上ということでも安全の問題もあり、危険回避のための船のチャーターや監視体制に経費がかかりすぎるの

で困難である。今後スポーツ振興も含めて利用促進方法を検討していきたい。



どうしたものか？ ドラゴンカヌー利用促進

### 議会改革検討委員会での意見

3月12日及び3月26日に議会改革検討委員会(一般公募委員等7名)を開催。これは議会に設置をした議会基本問題調査特別委員会(議員7名)との合同委員会形式で行ったもの。

主な議論、検討内容は議員定数、報酬についてであり、ここでは、合同委員会での主な意見を紹介する。

①議員定数は減らし、議員活動に専念してもらうためにも、また若い人にもどんどん議員に出ていただけるよう報酬をアップすべきだ。

以上が委員の大勢意見であったが、これらの意見を踏まえて議論を重ねた結果、現在の財政状況を熟慮すれば、議員報酬のアップはとも住民の納得が得られるものではないこと。更に財政厳しい折、議会費そのものも減らしていくことに両委員全員が賛成という共通認識にたつた。

②約5年後に起債償還のピークを迎える本町の財政状況、交付税も見込めない状況等、財政状況が好転することが望めないことを斟酌すれば1名から2名の定数減は仕方ないのではないか。ただ

し、これ以上の議員報酬のカットは限界である。



活発な議論が展開された委員会

また、議員定数については、定数を1〜2名減とする意見と、報酬をカットしても現行の18名を維持するという2つの意見に集約された。

この委員会の中で、日常の議員の活動が住民には見えてこない。伝わってこない。住民と議員の間には壁というか、距離が開いている感じがする。もっと議員活動を住民に分かるように、議員自ら地域に向いての説明会でも開く必要がある。議員定数、報酬の問題もあ

るが、それ以前に議員個人のレベルアップの方が大事などの身に伝わる厳しい意見があったことも追記しておきたい。

今後、これらの集約された意見をたたき台として、議会基本問題調査特別委員会でも再度検討を重ね、特別委員会としての方向性を決定し、議会全員協議会等に諮りながら、6月定例会までに必要があれば委員会中間報告書としてまとめあげていきたい。

## 陳 情 審 査

3月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳 情 者	審査結果
「現行保育制度の堅持・拡充、保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額」を求める意見書提出の陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	趣 旨 採 択
介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画中止の意見書採択等を求める陳情書	鳥取県保険医協会 理事長 松 本 拾	採 択
法務局の増員に関する陳情書	全法務省労働組合 中央執行委員長 岩 波 薫	趣 旨 採 択
介護保険料の激変緩和措置継続のお願い(陳情)	鳥取高齢退職者団体連合 会長 日 置 勝 彦	採 択
「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情	日本熊森協会 会長 森山 まり子	趣 旨 採 択
「現行保育制度の堅持・拡充、保育・学童保育・子育て支援施策の推進に関わる国の予算の大幅増額を求める意見書」提出の陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	趣 旨 採 択

### ◎ 議員発議で政府に意見書を提出

☆介護療養病床廃止・医療療養病床削減の中止を求める意見書

# 湯梨浜の誇り100選より紹介

## 泊貝がら節 とまりかいぶし



泊さくらまつりで踊りを披露

泊の海には、文政年間頃から昭和に至るまで数十年おきにイタヤ貝の大群が発生し、その都度浜は大変な繁盛ぶりであったといわれます。特に1834年の賑わいは鳥取藩日誌にも記述されているほどで、この頃から誰からともなく労働歌として唄い出されたと伝えられます。労働の過酷さと大漁の喜びを伝える豪快さと哀調が特徴で、県民謡として知られる浜村地区などの貝殻節とは異なる地唄です。

## ハウレン草



出荷を待つ見事なハウレン草

緑黄色野菜の王様と言われるくらい、栄養が豊富なハウレン草。泊地域の原・宇谷地区では、水田転換のハウス団地で、ハウレン草がさかんに栽培されています。今では、10年前に比べて約3倍強の販売額を記録し、1億円の大台に迫る勢いで、本町が誇れる施設園芸作物となっています。集出荷施設の予冷庫を利用し、いつでも新鮮な状態で出荷されます。

## 議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。

議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎35-5341 メール ygikai@yurihama.jp

《あなたの声をお待ちしています》

## 編集後記

東郷池の水面に梅の花が美しく映えてすばらしいコントラストを見せていたと思うと、桜の花が町中を彩り、まもなく梨の花が満開となる、そう 湯梨浜町の春の始まりです。

3月6日から3月議会が始まり、55議案の提案、そのうち平成20年度予算は予算特別委員会で慎重審議の上、一般会計予算95億3800万円が可決されました。

財政厳しい中、後期高齢者医療保険やF T H 基盤設備に夢を預けるなど、げんき・いきいき・かがやきのまちを目指し、湯梨浜町がスタートしました。新年度に入り、議会だより発行に際し、研修の成果を生かし、みなさまに読みやすく、愛される紙面にして参りたいと思います。(記 会見)

### 議会広報調査特別委員会

- 委員長 増井久美
- 副委員長 会見祐子
- 委員 村中隆芳
- 〃 浜中武仁
- 〃 入江 誠
- 〃 河田洋一